

2006/04/14 太田寿一

ライブドア関連、最新の動き

東京証券取引所（以下東証）は、堀江貴文前社長を含め経営幹部5名が逮捕されたことを受けて、ライブドア（4753）及びライブドアマーケティング（4759）の2社を1月23日付けで管理ポストに割り当てました。その後証券取引等監視委員会は両社を証券取引法違反で告発、それを受けて東証は両社の上場廃止を決定しました。同社株は3月13日に整理ポストに割り当てられた後、4月13日に取引が終了し翌14日を以って上場廃止となりました。

上場廃止となったライブドアは、山崎徳之代表取締役・羽田寛取締役・熊谷史人取締役の旧経営陣が総退陣し、平松庚三執行役員社長を始めとする新体制で再スタートすることが決定しています。

しかし同社にはこれから様々な苦難が待ち受けています。同社の成長を支えてきた子会社の離反、株価暴落の損害を受けたフジテレビ及び個人株主による損害賠償請求、減少を迫る取引先…。USENとの事業提携に至る前後から、外資系ファンドによる買収などが噂され、かつてIT企業の寵児と呼ばれた同社の将来は混沌としています。

またライブドア以外にも、次なる「ヒルズ族」を東京地検特捜部が狙っているといわれており、昨今の日経平均上昇の流れとは反して、新興市場では投資家による不信感が漂っています。

参考：livedoor ニュース トピックス <http://news.livedoor.com/webapp/journal/topics/>